

もくじ

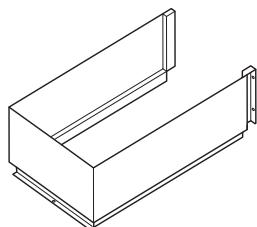
1. 各部の名称	1
2. 安全上のご注意	1
3. 工具及び付属部品の確認	3
4. 取付・設置手順	4
5. 点検	8
6. 残材処理	8

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本品に関わる「排水管に関連する工事」は、建設工事(管工事)の区分となります。関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が施工を行ってください。

1. 各部の名称

● どこでも排水カバー



● 取付ネジ

φ 3.5 × 13…4本

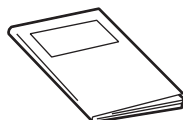


● セイタ固定ネジ

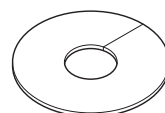
φ 3.5 × 32…1本



● 取付・設置説明書
(本書)



● 排水プレート
(各サイズ1枚 計3枚)



外径 φ 200、穴径 φ 50
外径 φ 200、穴径 φ 62
外径 φ 96、穴径 φ 50

2. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

2. 安全上のご注意（続き）

警 告

建設工事である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）等は、関連する法令、規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う。



火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



製品が外れたり落下して、けがをするおそれがあります。

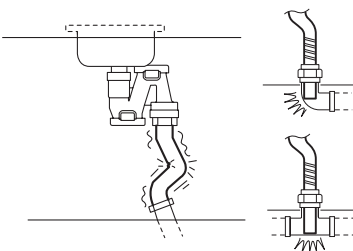
注 意

防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシーリングは確実にを行う。



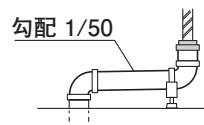
水が漏れたり、湿気が上がり床が腐るおそれがあります。

排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。
長いまま排水管に差し込み、エルボや横管に当たる状態で取り付けない。



排水能力が低下して、水があふれ、床を汚すおそれがあります。

排水管は勾配を取り、逆勾配にならないよう設置する。



排水能力が低下して、水があふれ、床を汚すおそれがあります。

取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。



誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

施工後は水漏れ等がないか、確実に取り付いたか必ず確認する。



漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

2. 安全上のご注意（続き）

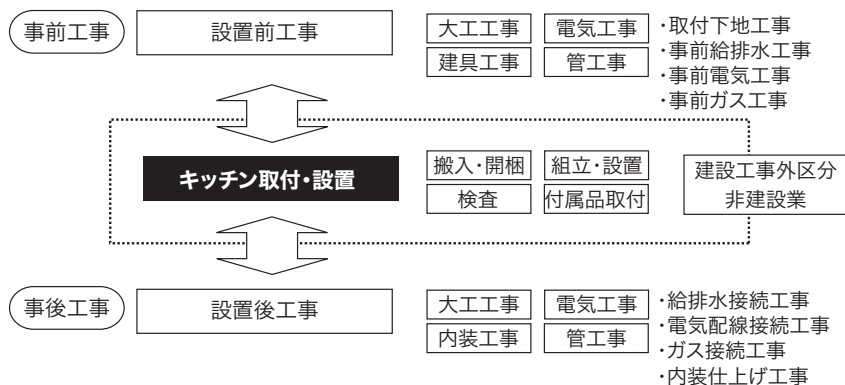
工事区分

⚠ 警 告

◎本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置を関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



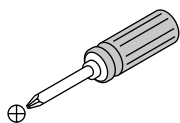
■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



3. 工具及び付属部品の確認

<取付・設置に必要な工具>

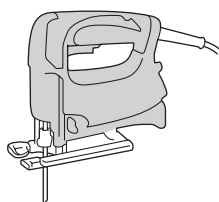
● プラスドライバー



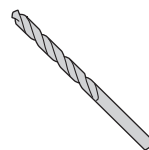
● 充電ドライバー
(電気)



● のこぎり (ジグソー)



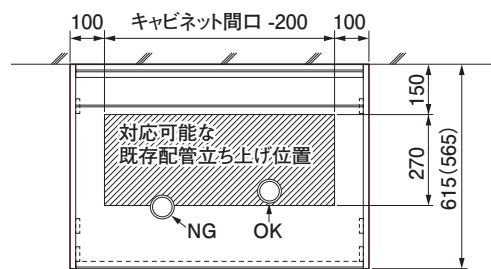
● ドリル



4. 取付・設置手順

1. 設置前の準備と確認

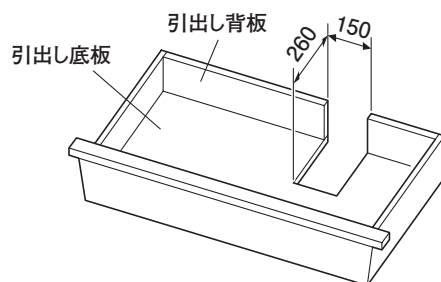
(1) 設置するシンクキャビネットを基準に、既存排水管的の位置を確認し、既存排水管的の外径が接続可能な範囲に入っているか確認してください。



※() 内寸法は、奥行600mmキャビネットの寸法です。

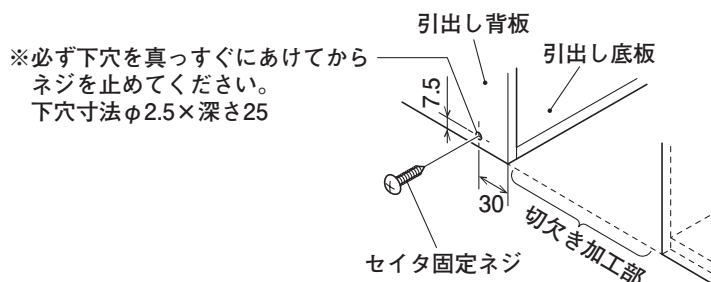
4. 取付・設置手順（続き）

（2）引出し底板と引出し背板に「どこでも排水カバー」取付用の切欠き加工をする。



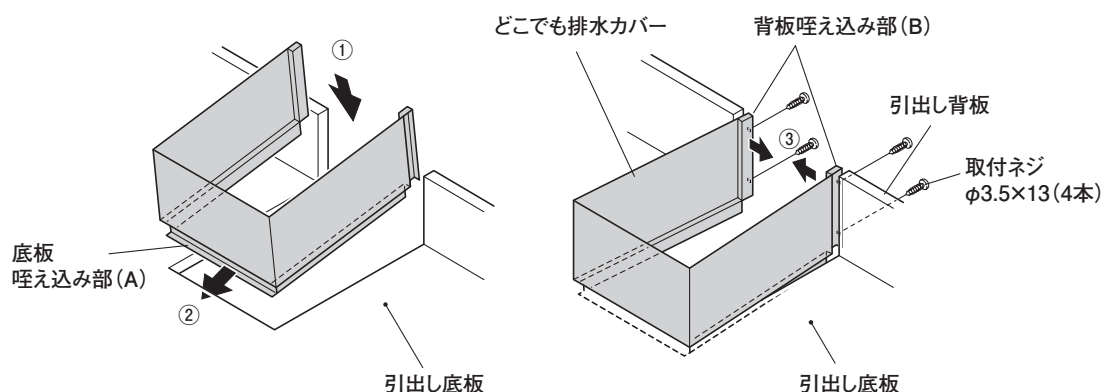
⚠ 注意

- 切欠き加工部に、引出し背板から引出し底板を固定するセイタ固定ネジがある場合は、下図の位置に固定し直してください。
固定する際は必ず下穴をあけ、真っすぐにネジを打ち込んでください。
引出し底板がふくれたり割れるおそれがあります。



また切欠き後、左右どちらかの背板にセイタ固定ネジがなくなってしまう場合も同様に下図の位置に付属のセイタ固定ネジを打ち込んでください。

（3）図のように、引出しの切欠き前部に「どこでも排水カバー」の底板喰え込み部（A）を図中②の様に差し込みながら、引出し上方から取付け、「どこでも排水カバー」本体を図中③のように内側へ曲げながら、背板喰え込み部（B）を引出し背板に差し込む様に取り付け、付属の取付ネジで固定してください。



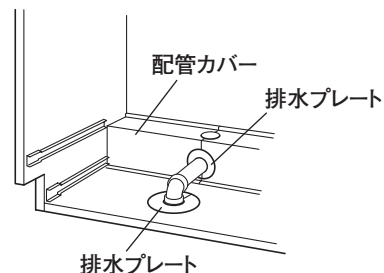
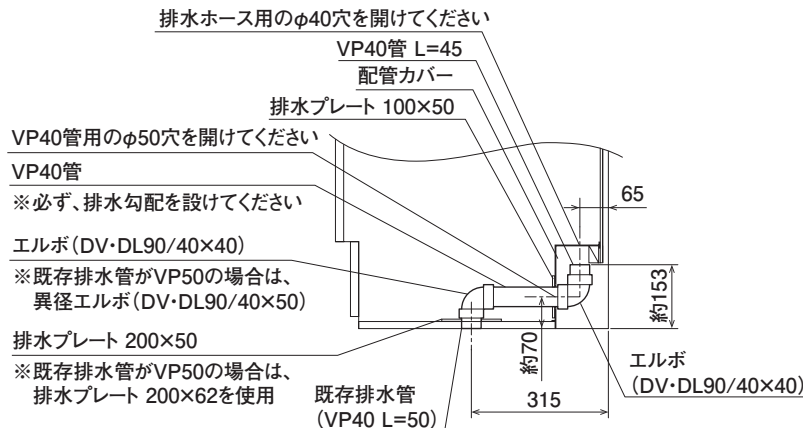
（4）他のキャビネット、ワークトップを取付け、シンクに排水部品を取付けてください。
※取付けは、キッチン本体に付属の「取付・設置説明書」に基づき、行ってください。

4. 取付・設置手順（続き）

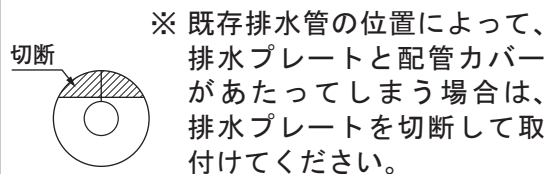
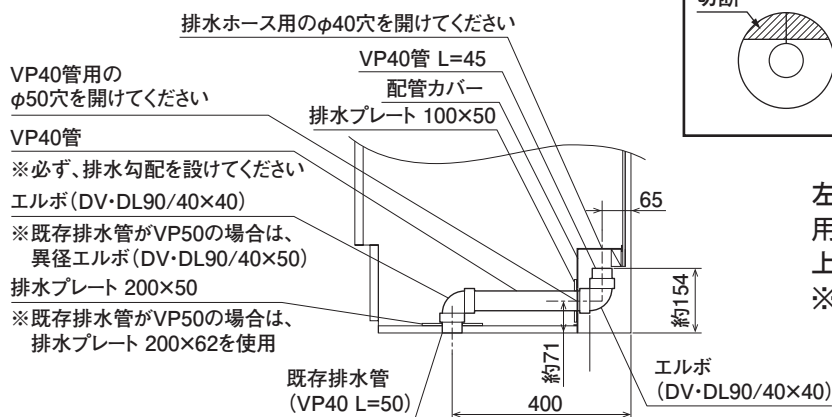
3. 取付・設置手順（管工事）

（１）下図の配管例を参考に、既存排水管から立ち上げ位置までの配管を、水道局指定工事店様で行ってください。

＜配管例＞ 既存排水管VP40（L=50）、B寸法=315の場合



既存排水管VP40（L=50）、B寸法=400の場合



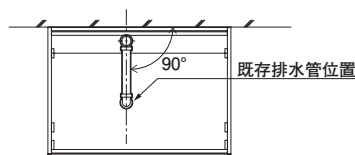
左図のように、市販の配管部材を用いて、指定位置に排水管を立ち上げてください。

※ 別途「横引き排水キット」もご用意しております。

⚠ 注意

- 既存排水管からの配管は、必ず後方の壁面と直角になる様、真後ろの方向へ設置してください。

どこでも排水カバーと配管が接触し、引き出しが開かなくなる可能性があります。



⚠ 注意

- 接着剤は、接着面全面（両面）に適正に塗布し、確実に接着してください。

漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 接着剤は、使用方法を良く読み、用量・用法を守り正しく使用してください。

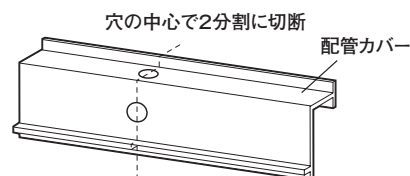
接着前に接着剤が硬化してしまったり、硬化が始まってから配管部材が動いてしまうと、強度が得られないばかりか、漏水のおそれがあります。

また、接着剤は必要以上に塗布すると溶剤により割れが発生し、漏水のおそれがあります。接合後は、接着剤の説明にしたがって、管内の換気・洗浄等、必要な処置を行ってください。

4. 取付・設置手順（続き）

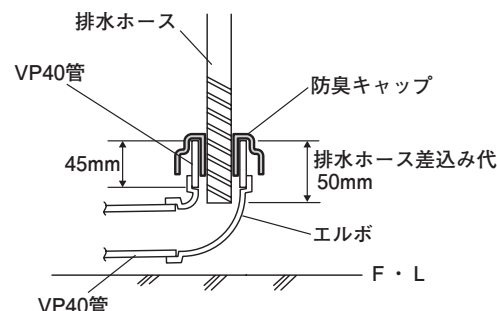
- (2) 穴加工をした配管カバーは、2分割に縦に切断してください。

※ 配管カバーの外し方、穴の開け方は、キッチン本体に付属の「取付・設置説明書」に従ってください。

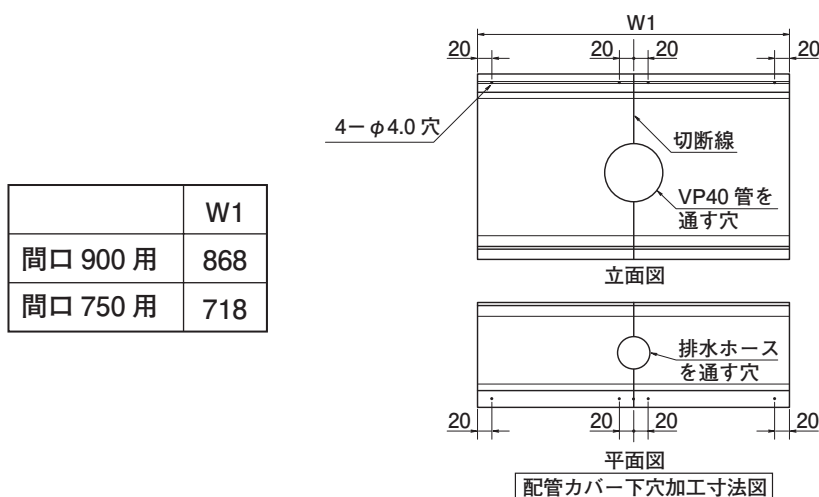


- (3) 配管部材の仮組をし、寸法、組み立て、設置等、問題がないか確認してください。
(4) 配管部材の接着、組立をしてください。

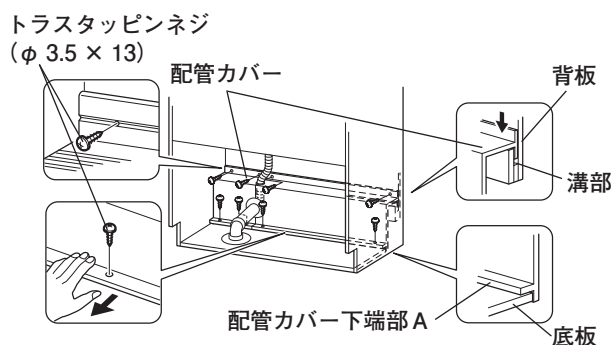
- (5) 排水ホースに、防臭キャップを通し、指定位置に立ち上げられている排水管に防臭キャップを確実にはめ込んでください。



- (6) 配管カバーに配管カバー固定用の穴（φ 4.0）を開けてください。穴開け位置は、下穴加工寸法図を参照してください。上端部側の下穴位置が、排水ホース、給水、給湯管立ち上げ位置と重なる場合は、重ならない位置へずらしてください。



- (7) 排水ホースと VP40 管を切断した配管カバーではさむ様に設置し、配管カバー下端部 A を底板に載せ、配管カバー上端部 B を、シンクキャビネット背板の溝部に差し込んでください。配管カバー下端部 A を底板側（手前方向）へ引きよせながら、(6) で開けた下穴を使用してワークトップ同梱の固定ネジ（φ 3.5 × 13）で底板に固定してください。ネジ取付時は、長めのドライバーを使用して、斜めにならないように締め付けてください。



- (8) 配管カバー上端部 A を (6) で開けた下穴を使用して、ワークトップ同梱の固定ネジ（φ 3.5 × 13）でキャビネット背板に固定してください。（8ヶ所）

4. 取付・設置手順（続き）

⚠ 注 意

- 排水管の立上げ位置は、別途取付・設置図により位置決めを行う。
接続不良や排水能力の低下により、漏水やシンクから水があふれるおそれがあります。
- 排水管の接続後、排水フタを袋に入れたままの状態排水口に設置し、シンクに水を溜めて排水を行い、各接続部より水漏れのないことを確認する。
水漏れにより床が腐る恐れがあります。
- 配管カバーをネジ固定する際に、電動ドライバーを使用する場合は、ネジを締めすぎないでください。
ネジが空回りしてしまったり、背板や底板を破損するおそれがあります。



お 願 い

- 水漏れ確認後は、必ず乾いた布で水分をよく拭きとってください。
水アカやさびの原因になります。



5. 点検

（1）安全点検

設置完了後、必ず各部の点検を行い異常のないことを確かめてください。

〈点検のポイント〉

- （1）排水ストレーナーはしっかり取付けられていますか。
- （2）排水ホースは排水管に挿入されていますか。
- （3）防臭キャップは排水管にしっかりはめ込まれていますか。

6. 残材処理

（1）梱包材その他残材の処置

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。